

【議案第4号】

令和2年度NPO法人北海道遺産協議会事業計画（案）

北海道遺産の持続可能な保全・活用に向けた長期ビジョン（2016策定）

	短期（2016～2017年）	中期（2018～2020年）	長期（2021～2025年）	以降
I 人材育成	人材育成プログラムの検討 ・大学等との連携	「北海道遺産ラボ」開始 ・各地域で遺産の保全・活用を担う人材の育成 ・選定地域の方、こうした取組みに関心を持つ学生等を対象 ・遺産所在地における実地研修等	遺産に関わる人・組織の増加	地域が主体となった北海道遺産の持続可能な保全・活用による北海道の活性化
II 遺産の価値向上・発信	追加選定等の方法の検討 日本遺産への申請支援 「北海道ヘリテージウィーク」開始 北海道遺産フォトコンテスト ・幅広い世代での認知度向上 ・地域遺産保全に関わる団体との連携強化 Webサイト、アプリを活用したPR	追加選定の実施（2018年） ・北海道命名150年 ・新たな枠組みでの北海道遺産構想のスタート	遺産の認知度向上・ブロード化	
III 支援のしくみの構築	金融機関等との連携を視野に入れた支援の枠組みの検討 正会員・サポーターの増加 収益事業の強化 事務局・地域支援体制の強化	金融機関・企業等との連携による地域遺産保全・活用支援制度の創設（（仮）北海道ヘリテージファンド）	持続可能な支援の仕組み構築	

＜令和2年度のポイント＞

- 新型コロナウイルス感染拡大防止対策との調和やコロナ収束後に向けた地域活動支援
 今般の新型コロナウイルスの状況により、現状では、多くの人が地域を訪れて地域資産の魅力を体験することや、地域の担い手の方々の活動そのものが難しい状況にある。しかし、バーチャルが主流になりつつある今こそ、地域のアイデンティティを表象する風土や歴史・文化を守り伝えることは市民の心の拠りどころとなる大切な活動である。担い手の方々の魅力的な地域づくり活動を持続していくために、コロナ対策との調和やコロナ収束後を見据えた活動の支援、また、担い手の方々と共に学び・考え・創造し、これからに備えるための事業を実施する。
 - 「北海道ヘリテージラボ」を中核とした地域連携の展開
 第3回選定で重視した「シェアリングヘリテージ」の考え方を実践し、テーマによって活動するワーキンググループを立ち上げる。ワーキンググループは理事や担い手を中心とし、協議会や地域における課題の共有、解決に向けた知識の共有と実践研究を行う。
 - 交流会議の地方開催の検討
 近年、札幌市内で開催してきた「北海道遺産交流会議（北海道遺産サミット）」について、地域とのコミュニケーションを深めることや、より具体的な活動のヒントとなる情報交換の場とすることを目的に、遺産地域での開催を検討する。
- 第4回選定に向けた検討会議
 次回選定に向け、外部有識者などを交えた第4回選定検討ワーキング会議を行う。選定方法の再点検、次回選定期限、選定委員候補などについて議論する。

※今年度事業は、新型コロナウイルスの状況により都度実施の可否を検討する

＜令和２年度事業＞

※今年度より、前頁「北海道遺産の持続可能な保全・活用に向けた長期ビジョン（2016 策定）」の事業の柱Ⅰ～Ⅲに基づき事業計画案を構成する。なお、各項目の予算額に付記している、[普][地][保][選][そ]は、決算書類上の区分による

（１）人材育成

◆「地域連携事業」（通年）

「シェアリングヘリテージ」の考え方に基づいて、「北海道ヘリテージラボ」の展開を継続し、テーマによるワーキングチームでの研究・実践を担い手と共に取り組む。オープンラボでの学びの場づくり、SNS や動画配信サービスの活用などの広報媒体の展開実践、地域ごとの繋がりを活かした担い手同士の連携モデル事業、新しいガイドブック作成に向けた検討や会員拡大の展開など、具体的に実践することで地域づくりを深化させる取組を担い手と共に研究する。

○1,300 千円[地]

（２）遺産の価値向上・発信

◆「北海道遺産交流会議（北海道遺産サミット）の開催」（11 月予定）※兼「Ⅰ．人材育成」

シェアリングヘリテージの実践の一環として、北海道遺産地域と共催で地域で交流会議を開催する。地域の課題等に合わせた分科会を設け、幅広く地域の人や学生の参加を呼びかけることで、北海道遺産の担い手候補の発掘、地域における遺産への関心の向上、担い手の活動の活性化に寄与する。

○500 千円[地]

◆「北海道ヘリテージウィーク 2020 の開催」（11 月上旬予定）

昨年度に引き続き、札幌駅前通地下歩行空間でのパネル展示を行う。また、他事業のイベント等もこの時期に開催することで北海道遺産のPR効果を高める。（参考：文化庁「文化財保護強調週間」（11/1～7））

○500 千円[普]

◆「第４回選定検討ワーキング会議の実施」（通年）

次回選定に向け、外部有識者などを交えた第４回選定検討ワーキング会議を行う。選定方法の再点検、次回選定期限、選定委員候補などについて議論する。検討ワーキング会議はその結果を取り纏め、理事会に提案書を提出する。

○150 千円[選]

◆「北海道遺産 SNS キャンペーン」（6 月～）※兼「Ⅰ．人材育成」

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止による外出自粛が続き、多くの人が地域を訪れることは難しいと予測されることから、昨年度まで行っていたフォトコンテストに替わり、手元にある北海道遺産の画像や動画を SNS にアップしてもらおうキャンペーンを展開する。昔訪れた際に撮影した画像や、地域に住んでいる皆さんが撮影する画像を投稿してもらい、SNS を通じて多くの人に魅力的な北海道遺産の姿をみてもらうことで、北海道遺産の価値を感じてもらおうとともに、外出できるようになったときに訪れたい場所として愛着を感じてもらおう。抽選で遺産関連商品をプレゼントする。

○500 千円[普]

◆「Web 等での情報発信と管理運営」（通年）

各地の北海道遺産をはじめとする地域遺産に関連する情報を、サイト、twitter、Facebook や、経年度より基盤整備を行っていた CRM システムを活用するなどして、幅広くタイムリーに発信する。
○200 千円[普]

◆「会員サービス」（随時）

協議会の活動情報、地域の行事情報などを掲載する手づくりのニューズレター「北海道遺産だより」を発行（年 2 回程度）、正会員・賛助会員・関係者等に送付する。昨年度に引き続き会員への年次の特典としてポストカードを作成する。
○150 千円[普]

◆「その他 PR」（随時）

遺産の PR となる雑誌広告等、費用対効果を踏まえ適宜実施する。パンフレットを随時増刷し積極的に各地での配布に活用する。
○1,500 千円[普]

（3）支援のしくみの構築

◆「ほっかいどう WAON 助成活動」支援（6 月～）※兼「I. 人材育成」

「ほっかいどう遺産 WAON」の寄付金により、北海道遺産所在地域における遺産保全・活用事業を募集し、総額 500 万円（50 万円以内/数件）の活動に対する助成を行う。今年度の助成先は新型コロナウイルス収束後の地域活性化につながる活動支援にポイントをおく。また北海道遺産地域の担い手の活動活性化や新たな担い手の巻き込みを目標に、助成先には交流会議の分科会への積極的な参加を呼び掛ける。
○5,200 円[地]※贈呈式予算含む

◆「お茶で北海道を美しくキャンペーン助成活動」支援（6 月～）

「お茶で北海道を美しくキャンペーン」寄付金による、各地域への助成（総額 90 万円）を実施。北海道遺産の環境・景観の保全活動に対して助成する。
○900 千円[保]

◆「会員拡大」（随時）

会員入会促進のために、理事および事務局が積極的に地域に展開する。
○100 千円[普]

(4) その他事業について

◆理事会・総会の開催

定期総会（年1回）を実施する。また理事会については必要に応じて実施することとする。

○150 千円[そ]

(参考)

■正会員・賛助会員一覧（令和元年度末現在）※順不同

◇市町村（39 会員）

俱知安町 / 弟子屈町 / 遠軽町 / 中標津町 / 別海町 / 伊達市 / 稚内市
豊富町 / 音更町 / 旭川市 / 標津町 / 士別市 / 黒松内町 / ニセコ町
名寄市 / 下川町 / 函館市 / 京極町 / 積丹町 / 増毛町 / 上士幌町
帯広市 / 江差町 / 小清水町 / 江別市 / 様似町 / 足寄町 / 松前町
上富良野町 / 音威子府村 / 石狩市 / 浜中町 / 鶴居村 / 厚岸町
鹿部町 / 標茶町 / 三笠市 / 月形町 / 札幌市

◇団体・協会（40 会員）

NPO 法人天塩川を清流にする会 / NPO 法人ダウン・ザ・テッシ / 石狩川下覧権
北海道和種馬保存協会 / NPO 法人炭鉱の記憶推進事業団 / 札幌村郷土記念館保存会
認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラスト / 公益財団法人網走監獄保存財団
公益財団法人三浦綾子記念文化財団 / オアシスパークからゆめまちづくり協議会
積丹観光協会 / 北の縄文道民会議 / 一般財団法人道南歴史文化振興財団 / 夢里塾
公益社団法人北海道観光振興機構 / 公益社団法人北海道アイヌ協会 / 砂川観光協会
一般社団法人石狩観光協会 / 北海土地改良区 / 一般社団法人余市観光協会
NPO 法人ひがし大雪アーチ橋友の会 / 天塩かわまちづくり協議会 / 土の博物館土の館
昭和新山国際雪合戦実行委員会 / 音更町十勝川温泉観光協会 / むかわ町穂別博物館
北海道出版企画センター / NPO 法人ピアソン会 / 利尻しまじゅうエコミュージアム
一般財団法人北海道歴史文化財団 / 苗穂駅周辺まちづくり協議会
北海道遺産ジンギスカン応援隊 / 札幌軟石ネットワーク / 十勝川温泉旅館組合
みかさ炭鉱の記憶再生塾 / NPO 法人北海道鉄道文化保存会
天塩野菜づくりネットワーク / ジンギスカン食普及拡大促進協議会
日本中央競馬会札幌競馬場 / 北海道農業協同組合中央会

◇企業・その他（13 会員）

医療法人社団宮崎整形外科医院 / 北海道中央バス(株) / 福山醸造(株) / 日本清酒(株)
オホーツク・ガリンコタワー(株) / サッポロビール(株) / (株)シービーツアーズ
(株)北海道新聞社 / 川崎近海汽船(株)北海道支社 / 北海道旅客鉄道(株)
えびすけ(株)福吉カフェ旭橋本店（旭橋を語る会事務局） / 雪印メグミルク(株)
とんでん(株)・つきさむ温泉

◇役員・個人（37 会員）